

常総市社会福祉協議会発展計画

社会福祉法人 常総市社会福祉協議会
(平成26年度～平成30年度まで)

1. 計画の目的

常総市社会福祉協議会では、平成21年度からの5年間、第2次地域福祉活動計画を策定し、法人運営・組織体制・経営方針など、社協運営の基盤となる計画をその中で表していました。

今回第3次地域福祉活動計画を策定するにあたり、それらの計画を「常総市社会福祉協議会発展計画」とし、今後目指すべき社会福祉法人としてのあり方を示すことといたしました。

地域福祉活動計画の中では、事業についての課題・目標を整理しましたが、この発展計画ではそれらを行う組織体制の整備、経理業務の適切な執行等、経営基盤を強化するための計画となっています。

2. 計画の意義

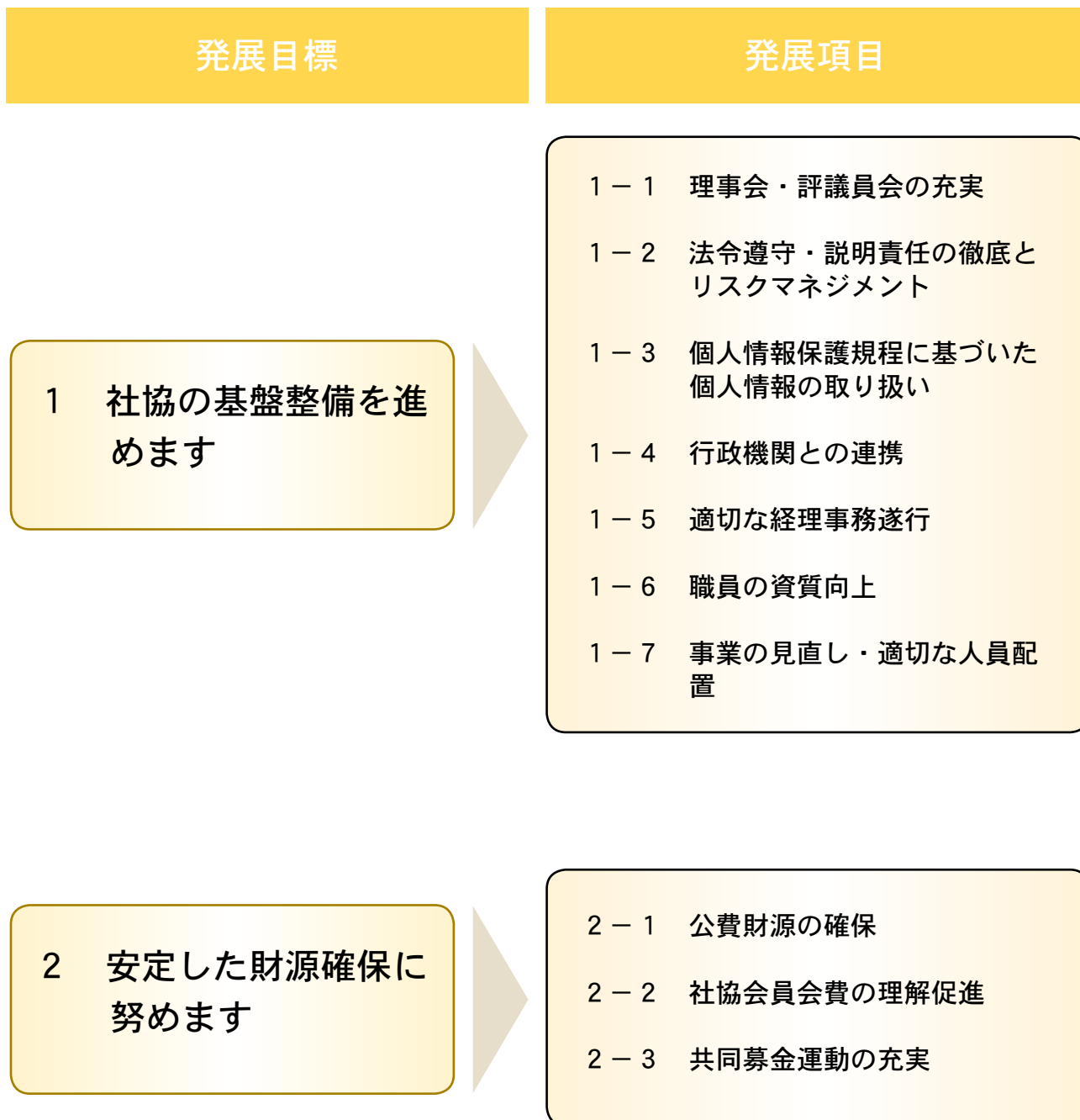
第3次活動計画に掲げた事業を推進するため、住民を主体とする小地域福祉活動を支援するための役員や職員などの組織体制の充実のほか、活動財源の確保などを明らかにしていきます。

そして、社会福祉法人として公益性を実現することは基より、民間事業者としての効率性を加味した事業運営をしていくための組織体制の整備を確認していくという意義があります。

3. 計画の期間

本計画の期間は、第3次活動計画を推進するために、運営体制の充実、強化を目指した計画であり、第3次活動計画と同様の期間（平成26年度～平成30年度）とします。但し、必要に応じ理事会、評議員会において見直しを行います。

4. 発展計画体系図



発展目標 1

社協の基盤整備を進めます

発展項目 1-1

理事会・評議員会の充実

円滑な事務事業の推進のため、執行機関である理事会の機能や役割を明らかにし、執行体制の充実と強化に努めます。

また、市民の代表として選出された議決機関である評議員会についても、情報提供の充実や研修等をおして、社協の理解を深めるとともに事業への積極的な参加を促進します。

発展項目 1-2

法令遵守・説明責任の徹底とリスクマネジメント


一般法令はもとより、社会通念上守るべきモラル等についても厳格に遵守していきます。社協のサービスを受ける方は、同じ基準で平等のサービスが受けられるようにしなければなりません。

また、想定される苦情や事故に対して、どのように対応するかをマニュアル化していきます。

発展項目 1-3

個人情報保護規程に基づいた個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、個人情報保護規程に則り管理していきます。要保護世帯の災害時の安否確認など、想定される個人情報の利用について、管理を徹底していきます。



発展項目 1－4

行政機関との連携

行政や社協がそれぞれ保有する様々な情報は、支援の必要な方を総合的に支援していくため、お互いに情報を共有化することが必要であると考えられます。

関係者との協議及び合意形成を進めながら、それぞれ保有する情報の一元化、共有化を図るとともに、それぞれの活動の相互理解に務めます。

発展項目 1－5

適切な経理事務遂行

社協内部で二重・三重の確認体制を整備することが、適切な経理事務につながります。牽制機能を強化し厳格な予算執行をしていきます。平成26年度からは社会福祉法人新会計基準を適用して、予算執行を行います。

発展項目 1－6

職員資質向上に努めます

市民の幅広い福祉ニーズに対応するためには、職員のスキルアップは欠かせないものと考えられます。職員の資質や専門性の向上を図るため、職場内研修や、各種外部研修への参加を促進していきます。

発展項目 1－7

事業の見直し・適切な人員配置

常総市に必要なことは何かを常に考え、緊急性や必要性に応じ実施事業の優先順位を決めていきます。

限られた予算と人員の中で、今しなければならないこと、長期的な視野で必要なことなどを見極め、地域福祉活動計画管理委員会等の意見を参考に既存事業を見直していきます。

発展目標 2

安定した財源確保に努めます

発展項目 2-1

公費財源の確保

各施設の指定管理を始め、社協収入の大きな部分は公費からの補助金・受託金からなっています。行政や県社協との連携を密に行い、社協であるからこそできる包括的なサービスや、民間事業者としての機動力を図っていきます。

市民から信頼されることは、同時に行政からも必要とされる組織となることを再確認し、社協が地域福祉推進の中核の団体として、継続的に地域の福祉活動を進めるための公的な財源を確保していきます。

発展項目 2-2


社協会員会費の理解促進

会員となることを通して、地域福祉の推進や社協事業への参加を意思表示していただくものである。地域住民に対する情報提供、相談、機材の提供、社協事業への参加や意見を反映できる機会を通じて、社協への住民参加を大きく進め、住民会員の増強を図っていくため、積極的な加入促進を図ります。

年度別社協会員会費実績一覧

(単位：円)

年 度	実績額		
	普通会员+特別会員	法人会員	合 計
21年度	9,363,750	455,000	9,818,750
22年度	9,328,500	135,000	9,463,500
23年度	9,146,750	225,000	9,371,750
24年度	8,945,300	225,000	9,170,300
25年度	8,827,400	250,000	9,077,400



発展項目 2 - 3

共同募金運動の充実

共同募金は、事前に地域内の社協や社会福祉施設、社会福祉団体などから、活動のための資金ニーズを取りまとめ、使い道の計画と目標を立ててから行われる計画募金です。

社協は、茨城県共同募金会常総市支会の事務局として、募金活動に取り組んでいます。

募金の有効活用を更に図るため、地域（市内）で様々な福祉活動をしている団体への助成を行うための助成審査会（仮称）を設置し、活動助成を行うとともに、新たな募金活動方法を検討します。

※募金実績は、18ページを参照